

770G

ダンプ・トラック



エンジン

エンジン・モデル	Cat® C15アサート™	
総出力 - SAE J1995	384 kW	515 hp
正味出力 - SAE J1349	356 kW	477 hp
質量 - 概算値		
目標機械総運転質量	71,214 kg	157,000 lb

運転仕様

目標ペイロード容量	38.2メートル・トン	42.1トン
-----------	-------------	--------

- デュアル・スロープ・ボディ (ライナなし) の場合の公称ペイロードと容量。アタッチメントの選択は、ペイロードと最大機械総運転質量に影響を与えます。
- 車両の最大総質量制限については、「Caterpillar社鉱業用トラックの10-10-20ペイロードに関する方針」をご参照ください。

機能

Gシリーズのお客様の要望

- 安全性および規制要件をクリア
- 作業予定に合わせて機械を用意可能
- 保有コストおよび作業コストの削減を促進する性能
- 生産性を向上させる作業環境を提供

Gシリーズの品質

Gシリーズは、膨大な検証と、ユーザーによる25,000時間に及ぶ試作機のテストを経て生産されています。

Gシリーズの性能

770は、自動車並みのシフト動作と快適性で運搬サイクルを短縮する新しいトランスミッション・コントロール装置を採用しています。

Gシリーズの経済性

Gシリーズでは、新しい燃料節約システムとコンポーネントの寿命目標を導入し、ライフ・サイクル・コストの管理に役立てています。

Gシリーズの安全性

Gシリーズでは、制動、トラクション・コントロール、物体検出および乗降に影響する設計を改善し、このサイズ・クラスのトラックの安全性に新しい基準を打ち立てました。

目次

パワー・トレーン	4
排出ガス制御	6
燃料節約システム	7
性能	8
ブレーキ性能.....	10
トラクション・コントロール・システム.....	11
トラック・ボディ	12
製造および設計	14
オペレータの作業環境.....	16
VIMS™	18
ペイロードおよびタイヤのモニタリング	18
積込み杯数のマッチング	19
シンプルな整備	20
カスタマ・サポート.....	21
安全および持続可能性	22
仕様	24
標準装備	32
オプション装備品	33





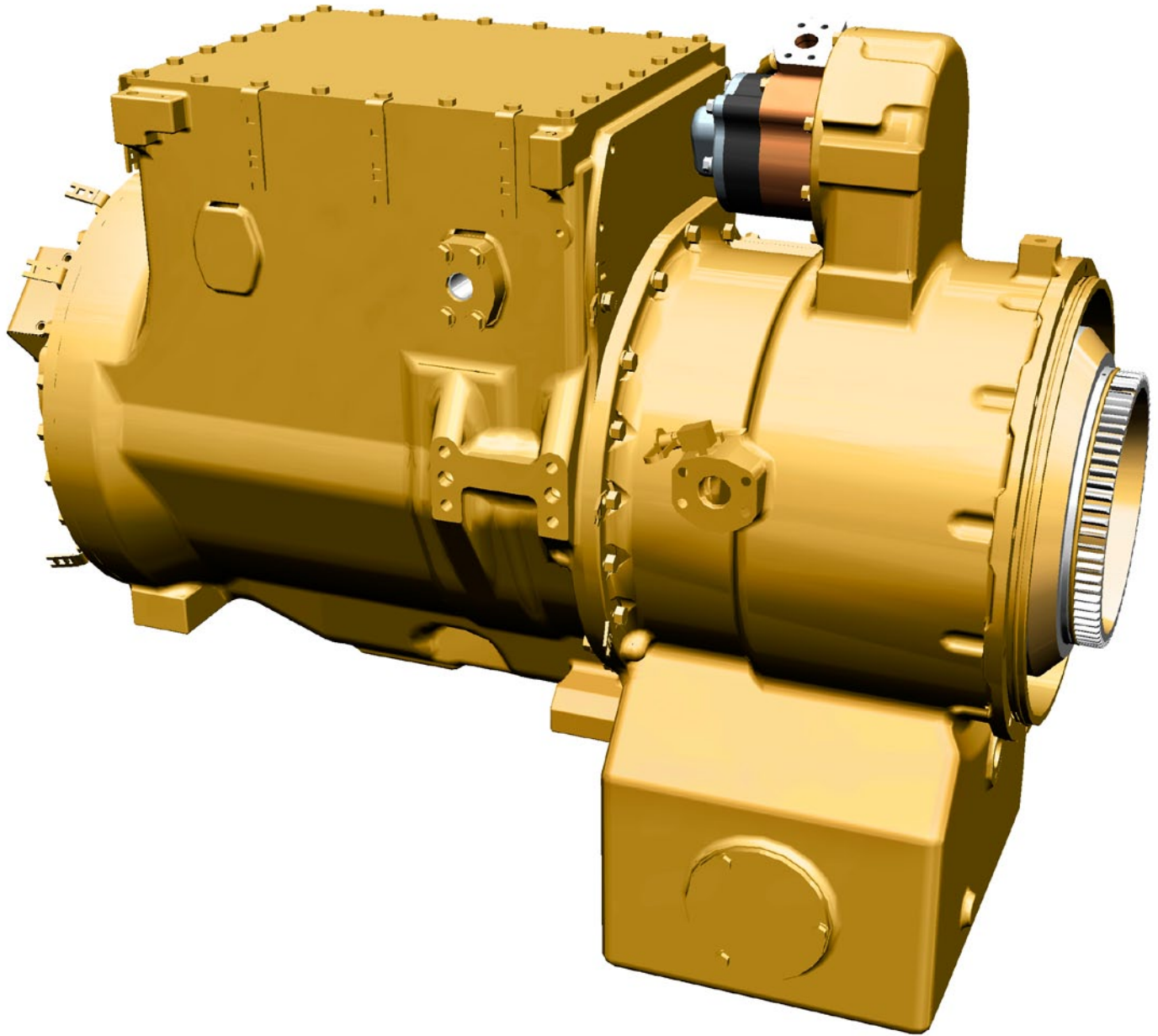
1963年に、Caterpillar社は、過酷なマイニングおよび大規模土木専用に設計された革新的なダンプ・トラック、769を導入しました。50年を経て、当社のトラックは最高水準に達しています。耐久性と信頼性の伝統から最高の要素を集め、それにテクノロジーを組み合わせました。これにより、環境への貢献、オペレータの生産性の向上、運搬機械の経済性の大幅な向上を実現しています。

この770Gのトラクション・コントロール・システムは、地盤の条件が最適ではない場合でも動作できるように更新されています。また、新しい柔軟性の高い燃料節約機能によって燃料消費量も改善されています。さらに、自動車品質のシフト動作、騒音低減およびキャブ改良により同等クラスで最高のオペレータ環境を実現しています。

当社の伝統と新しいテクノロジーの応用が、お客様のビジネスの継続的な成功という、1つの目的のために融合されています。

パワー・トレーン

迅速かつ効率良く、確実な運搬作業



トランスミッション

770Gの性能とペイロードを保護するために、トルク・コンバータをトランスミッションと同じハウジングに統合しました。その他のGシリーズのトラックと同様に、このトランスミッションはAPECSにより制御されます。APECSは極めてスムーズな乗り心地を実現し、どのシフト・ポイントでも出力を十分に伝達することで、傾斜面での優れた性能と速度を発揮します。また、高速かつ応答性の高いトラックとするために、APECSがクラッチ圧力を制御することで、長寿命と高い信頼性を確保しています。

Catパワー・トレーン・コンポーネントを7速に入れると、770Gの最高速度は79.2 km/h (49.2 mph) に達します。

エンジン

新しいGシリーズのトラックには、Cat C15 ACERTディーゼル・エンジンが搭載されています。当社は最近エンジン事業において85周年を迎えましたが、これらの米国EPA Tier 4 Final/EU Stage IVエンジンに注がれた労力は、その経験の集大成と言えるものです。

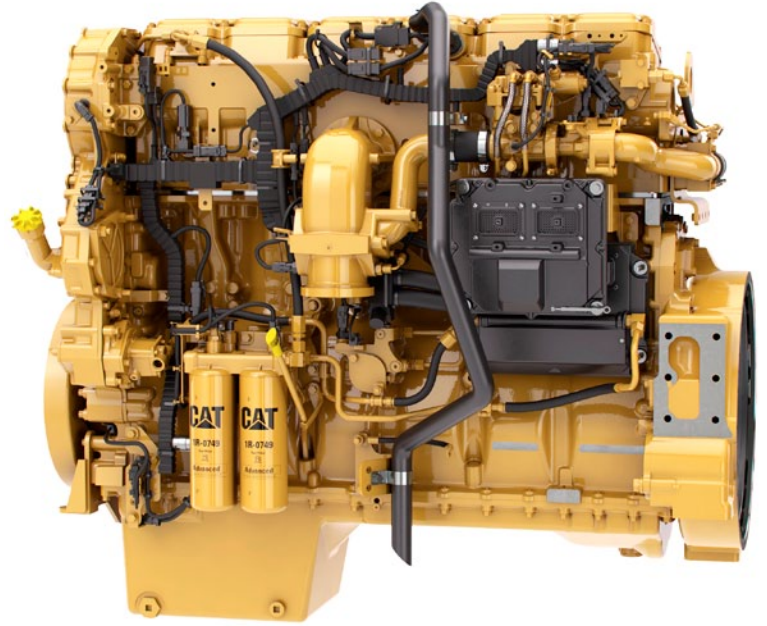
このC15エンジンは、世界中の排出ガス基準を満たすように更新されています。Caterpillar社では、すべてのTier 4 Final/Stage IVエンジンに業界トップの電子制御、燃料供給、エア処理および後処理装置を装備しています。その結果、エンジンでは燃料の節約、排出ガスの管理、診断能力の向上が実現されています。

このGシリーズ・トラックでは、エンジン・ソフトウェアを改良したことにより、トラックは回転数を落としながらより多くの作業を行うことができますので、燃費が向上しています。この変更は、トルクを7%増やし、地面に伝えるパワーの比率を増やすことでバランスを確保しています。新しいトランスミッション・コントロールとエンジンの連携により、このトラックは、傾斜面での性能を大幅に向上させ、より経済的に作業を行えるようにしています。

Gシリーズにおいて1つの追加で大きな変化をもたらしたものは、より高い標高でもフル・パワーで作業できる770Gの能力です。このトラックでは標高適応能力が23%も向上しているため、ほぼ3,000 m (10,000 ft) まで性能に影響を与えずに登ることができます。

C15に追加された主要な機能の一部は以下のとおりです。

- 便利な自動電圧充電。
- キー・オンの燃料プライミングにより、整備コストを低減。
- 寒冷時始動アイドル・アップ機能により、シフト始動時で最高の性能を発揮。
- プログラム可能なエンジン・アイドル・シャットダウン機能により、燃料を節約し排出ガスを削減。
- 遅延エンジン・シャットダウン機能により、エンジン停止の前に全システムの冷却と抜取りが可能。
- エンジン上部への便利な新しいサービス・アクセス・ポイント。
- 長距離の下り坂用のオプションのエンジン・ブレーキを用意。
- Cat MEUI™-Cフュエル・インジェクタにより、すべての負荷条件で燃料効率の優れたパワーを発揮。



APECSがもたらすもの

このトラックの性能向上の多くは、統合型のパワー・トレインと、特に当社のAPECSトランスミッション・コントロール・ストラテジによって達成されています。

- **傾斜面でのサイクル・タイムの向上** – シフト間でもパワーを維持できるようにパート・スロットル・シフティングを追加しました。これにより、トラックに負荷が掛かった状態でシフトしても駆動力を失うことがありません。
- **燃料節約** – パート・スロットル・シフティングには燃料節約の利点があります。この機能により、シフト間で失われた駆動力を克服するために燃料を掛ける必要がなくなります。
- **自動車並みの乗り心地** – トルク・シフト・マネジメントとパート・スロットル・シフティングにより、シフト動作が大幅にスムーズになっているため、オペレータはシフトにほとんど気付かないほどです。これにより、長時間の作業による疲労因子を低減します。
- **長年にわたる耐久性** – トルク・シフト・マネジメントがトランスミッション内の油圧をコントロールし、圧力スパイクをなくし、クラッチの摩耗を低減します。

排出ガス制御

使用が容易で、信頼性の高いソリューションにより、排出ガスを低減

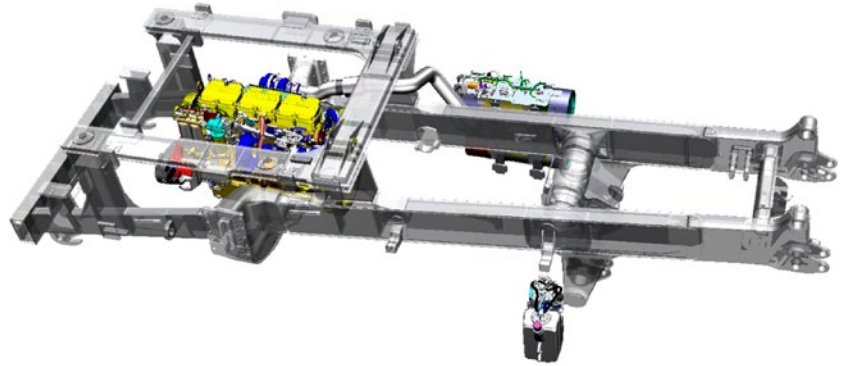
Tier 4 Final/Stage IV対応のソリューションを設計するうえで、当社の目標は、まずお客様に規制に適合した製品を提供することであり、第二に、操作、メンテナンスおよび管理を簡単にすることでした。多数のCat製品で同じシステムを使用することにより、当社では部品の共通化を行い、ソリューションに使いやすくなるように設計しました。

具体的には、770Gでは、DEF液 (Diesel Exhaust Fluid、ディーゼル排気液) を燃料タンクの隣の小型タンクに追加します。このタンクは21 L (約6 gal) のDEFを格納でき、燃料タンクと同じ間隔で充填できます。それ以外の処理は自動で行われるため、オペレータの操作は必要ありません。

当社のソリューションのシステムとコンポーネントでは、選択式触媒還元を使用して排出ガスを制御します。これらは、お客様の用途に合わせて専用に製造されています。寒冷の環境ではシステムは加熱され、高温の環境ではシステムは冷却されます。

当社のソリューションには、3段階あります。エンジンにおける窒素酸化物の低減は、非常に少量の割合の冷却された排気ガスを、燃焼室を介して再導入して戻すことで達成されます。今日のディーゼル・エンジンでは低硫黄ディーゼル燃料が義務付けられているため、排気は腐食性が低減され、エンジンの耐用年数へのリスクが低減しています。排気混合気を再導入することにより、燃焼温度を下げ、窒素酸化物の発生を制御することができます。

エンジンから排出される排気ガスはまず、ディーゼル微粒子フィルタ (DPF、Diesel Particulate Filter) を通過し、粒子状物質を削減します。システムでは次に、ディーゼル排気液 (DEF) を排出ガス中に噴射することで、残留する窒素酸化物を制御します。この混合気に対して、選択式触媒還元、アンモニア還元が行われ、最終的に、窒素酸化物が不活性窒素ガスと水に分解されます。



燃料節約システム

お客様の個別ニーズに合わせて調整可能



標準エコノミー・モード

Gシリーズでは、個別のニーズに基づいてエンジン出力を調節できます。燃料節約は、すべての操作段階において出力を0.15～15%低減することにより、達成されます。

アダプティブ・エコノミー・モード

Gシリーズに新しく導入されたこの機能では、生産に関する基準をお客様が設定する必要があります。その後、トラックが運搬サイクルに入り、一定した状態を維持することができるようになると、設定した基準に照らして出力を低減し燃料を節約する機会はないか絶えず評価を行います。これは完全に自動的に行われるので、特別な操作は必要ありません。

自動ニュートラル・アイドル

770Gは、ローダやクラッシャを待機している場合など、前進ギヤでアイドル状態になると、トランスミッションは自動的に燃料効率の高いニュートラルの状態に入ります。オペレータがブレーキを放すか、スロットルを開けると、トラックが瞬時に前進ギヤに復帰します。

エンジン・アイドル停止機能

お客様のGシリーズ・トラックが駐車状態にあり、プリセット時間を超えてアイドルすると、燃料節約のためにトラックのエンジンが停止します。この機能はお客様の固有のニーズに合わせて、時間調整と作動/非作動の設定が可能です。

性能

作業を安全に完了するために





APECSのシフト品質、燃料効率および性能のメリットに加えて、このテクノロジーで実行されるいくつかの主要な安全機能には、以下のようなものがあります。

- リバース・シフトは、回転数の制御により、オペレータとトラックのパワー・トレイン・コンポーネントへのリスクを低減します。前進からリバースへのシフトは、トラックの速度が4.8 km/h (3 mph) を下回った場合にのみ実行されます。トラックがリバースに入ると、トラックは16.7 km/h (10.4 mph) で走行できます。この回転数が作業現場条件では速すぎる場合、リバースの回転数設定を制限できます。
- トランスミッションの保護をさらに高めるために、トラックは方向シフト中のエンジン・スピードを自動的に調節します。
- 高速で惰行すると、トランスミッションの潤滑が制限されます。これを避けるため、APECSでは、速度が8 km/h (5 mph) を下回った場合にのみニュートラルにシフトします。
- セコンダリ・ギヤ始動はGシリーズ・トラックの新しい機能です。この機能を使用して、トラックは1速をバイパスして、2速で発進することができます。このオプションは、ほとんど平らで硬い地面条件で役立ちます。トラックが現場を離れるときには、2速に十分なトルクがあるため、短期間ではあるが高いエンジン回転数を必要とする1速を避けることにより、燃料消費量を削減することができます。運搬走路を横断時に1速が必要となると、追加の操作を必要とせずに、トラックは自動的に1速に落ちます。
- 1速に入っているときに、770Gはトルク・コンバータをロック・アップして、可能な限り最大のリンブルを發揮します。



回転数制限のメリット

回転数制限は、運搬走路でのリスクを低減する簡単な方法です。回転数制限を使用すると、トラックは回転数の限界を維持しながら、最も効率的なギヤと対応するエンジン回転数で運転します。この機能では、ギヤのロック・アウトと比べて、燃料消費量、騒音レベルおよびパワー・トレイン・コンポーネントの摩耗を低減することができます。

ブレーキ性能

傾斜面での安心感およびコントロール性



Catトラックの他社にない重要な特長は圧倒的なブレーキ性能です。設計の原則は、採石、採掘、土木工用途における長寿命と優れた性能です。

油圧作動式ブレーキ

Catトラックには油圧作動式リア・ブレーキとキャリパ・ディスク・フロント・ブレーキが装備されています。すべてのトラックにプライマリ・サービス・ブレーキ、油圧リターダ、パーキング・ブレーキが装備されています。

サービス・ブレーキに必要な圧力は、2つの油圧アクムレータが供給します。2番目のアクムレータはバックアップとして機能します。リア・アクスルのオイル冷却式の多板ディスク・ブレーキには大径ディスクが採用され、フェード耐性に優れています。パーキング・ブレーキはリア・ブレーキに掛けられ、最大15%までの傾斜面で定格積載状態の機械を保持できるようになっています。また、サービス・ブレーキは20%の斜面でトラックを保持できるように設計されています。

オートマチック・リターダ・コントロール (ARC)

オートマチック・リターダ・コントロールは770Gに標準装備されています。ARCは傾斜地でのブレーキを電子的に制御し、エンジン・スピードをおよそ2,200 rpm (1,950 ~ 2,200 rpmの範囲で10 rpm単位で調節可能)に維持します。ARCはリターダの状況にない場合には解除されます。この機能は、下り坂の運搬でオペレータが常時操作しなくてもトラックの回転数を制御します。スムーズでコントロールしやすく、手動リターダよりもサイクル・タイムを短縮します。ARCは自動的に作動し、トラック稼働中、常時エンジンの過回転を防止します。

Catエンジン・ブレーキ

Caterpillarではオプションでエンジン・ブレーキを用意しています。Catエンジン圧縮ブレーキは、ARCブレーキ・システムと連動して、選択したシリンダで圧力を解放し、エンジンの圧縮行程中に機械に"ブレーキ"を掛けます。ARCと連携することで、システムはブレーキ・コンポーネントの摩耗を低減しながら、機械の下り斜面での走行速度を最高35%上げることができます。このCaterpillar製のコンポーネントは、長期間にわたり整備を気にしなくても良いように設計されています。定期的なエンジン・メンテナンスの一部として行われるバルブ・ラッシュの定期点検以外は、調整もメンテナンスも必要ありません。Cat圧縮ブレーキを無効にするOn/Offスイッチはダッシュボードにあります。

新しいトラクション・コントロール・システム

当社では、トラクション・コントロール・システムの性能に対して大幅な更新を行いました。

新しいシステムの特長は以下のとおりです。

- 油圧サービス・ブレーキを使用してホイールの滑りに対する応答時間を短縮し、スピンとタイヤの摩耗を低減。
- 低速域で動作し、トラクション回復時間を短縮。
- ステアリング・センサにより、トラックはホイールの空転と高速回転を識別し、正確な対応を実行。
- 油圧サービス・ブレーキを使用して両方のリア・ホイール・グループ間の調節を常時実行し、現在の地面の状況に合わせてトラクションを制御。

注記: TCSはこの機械ではオプション装備品です。

トラクション・コントロール・システム

タイヤ寿命の向上、コンポーネント摩耗の低減、サイクル・タイムの短縮



トラック・ボディ

お客様の用途と資材タイプに合ったボディ



ボディ設計の目標は、各運搬で定格ペイロードを提供することです。作業現場はすべて異なるため、2つのボディ設計、軽量資材用のオプションのサイド・ボードおよび2つのライナ・オプションを提供し、お客様の投資を保護して最高レベルの摩耗寿命を達成します。

フラット・フロアおよびデュアル・スロープ・ボディ

採石ボディを除いて、ボディ設計は両方とも、フロアに厚さ16 mm (0.62 in) のベース・スチールを使用して製造されています。この頑丈な設計は、お客様の資材の種類および作業現場の条件に応じて、さらに16 mm (0.62 in) のスチール・ライニングまたはラバー・ライナのオプションを使用して補強できます。

ボディ・タイプを選択する際の考慮事項は以下のとおりです。

- フラット・フロア・ボディは、資材を制御された状態で積降ろしできるため、製品のクラッシャへの供給に最適です。
- デュアル・スロープ・ボディは積荷を中央に集め、勾配において安定性と保持力を確保できるように設計されています。

スチール・ライナ

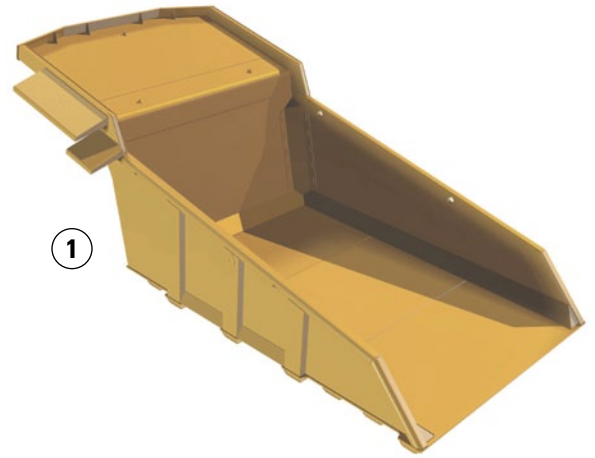
Caterpillar社では、フラット・フロアとデュアル・スロープ・ボディに取り付け、衝撃が大きく、摩耗性の高い資材から保護する、16 mm (0.62 in) の単板スチール・ライナを用意しています。

採石ボディ

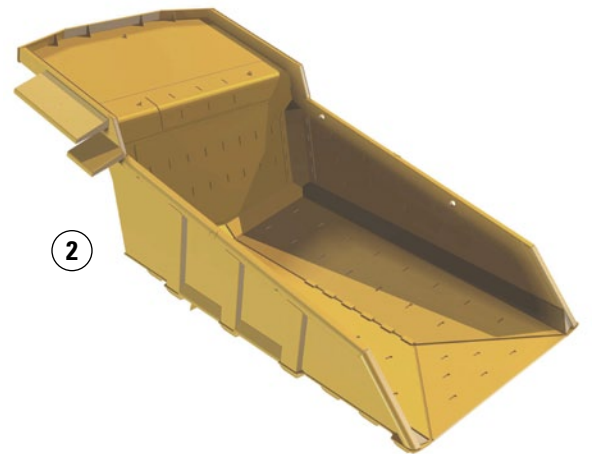
Caterpillar社では採石場の柔らかい石灰岩専用の採石ボディを用意しています。このボディには、25 mm (0.98 in)、400 BNHのスチール・フロアが装備され、石灰岩を保持する場合追加のライナを必要としません。

ラバー・ライナ

衝撃度の高い特性を持つ、極めて硬い資材を積み込む場合、ラバー・ライナ・システムの工場装着をご検討ください。ラバーには、スチールよりも3倍の耐衝撃性があり、衝撃度の高い資材から発せられる騒音も吸収します。ラバー・ライナは、粘土、粘性の高い資材、または高温の資材を含む用途には向きません。ラバー・ライナはボディ・ヒータと一緒に決して使用しないでください。



①



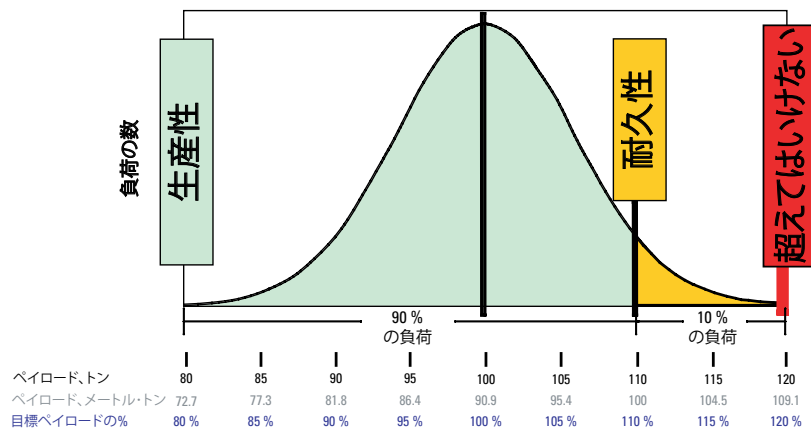
②

- 1) フラット・フロア
- 2) ライナを装着したデュアル・スロープ

10-10-20 耐用年数を最大限に延ばすためのペイロード管理方針

機械と機械コンポーネントの寿命を最大限に保つ理想的な運搬方法は、すべてのペイロードの平均を機械の定格目標ペイロード以下に保つことです。

- 90%の負荷がこの範囲内に収まる必要があります
- 10%を超える負荷が、目標ペイロードを10%超えてはいけません
- 負荷は目標ペイロードを20%超えてはいけません



トラックに常時過負荷を掛けると、コンポーネントの寿命に影響を与え、タイヤの寿命を短くし、運搬走路のメンテナンスも増えます。何よりもまず、操業コストに悪影響を与えます。Caterpillarの10/10/20ペイロードに関する方針は、トラックの稼働率を最大限に高め、運搬コストを管理するために作成されています。

稼働率とコンポーネントの寿命を最高度に高めるために、Caterpillar社では、目標ペイロードの110%を超えるのはペイロードの10%にするようにお勧めします。公称ペイロードの120%を超えるペイロードはトラックの設計仕様パラメータ値を超えています。この方針の適用方法の詳細については、ディーラにお問い合わせください。

製造および設計

品質とバリューを生み出す施設

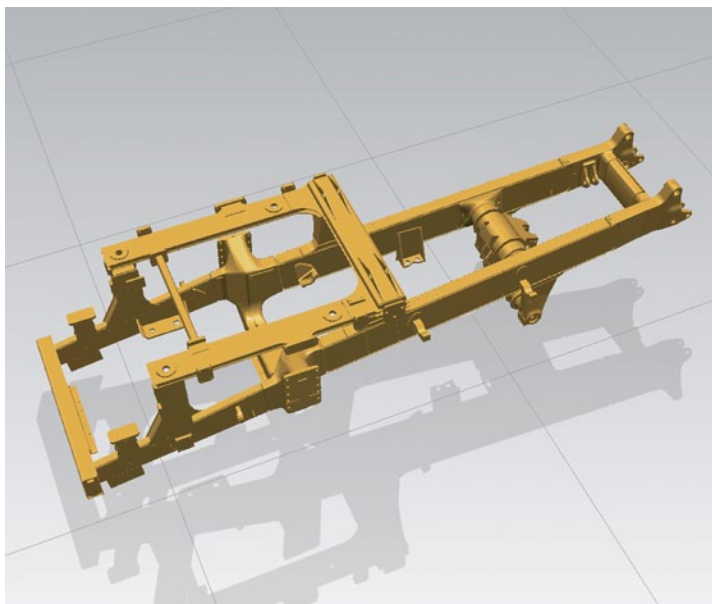


Caterpillar社の重要な製造拠点であるイリノイ州ディケーターの施設では、大幅な更新が行われました。Catトラックはこの施設で製造されます。信頼性はきれいな部品から始まるため、当社の組立場所は、製造とは独立した専用の建物の中にあります。組立場所は適切な照明が整えられて清潔に保たれ、汚染管理が行われています。当社の専門の溶接士は、人間工学に基づいた、高度な溶接能力をフレームに対して発揮する回転台で作業します。当社のすべてのトラックは、組立、製造および整備のしやすさについて設計の際に点検されます。当社では、アンドン・システムに従って、工程および品質に関する点検を組立ステーションごとに実施します。さらに、追加の品質検査が組立ラインの最終時点と納車の前にディーラで行われます。

優れた構造

当社のフレームの設計は、50年にもわたる徹底した経験に裏打ちされていますが、新しい工具が使用可能になったことで、最新のテクノロジーを使用して、フレームを改善および検証することができるようになりました。変わらないのは、積込みと高速運搬の際に受ける大きな応力に対応できるフレームの能力です。当社はこれからも、鋳造部品と箱型断面構造を戦略的に組み合わせて、作動力を運用していきます。

- 当社は、最高度の負荷を遮断および分散するために、鋳造鋼の強さをフレームに利用しています。当社のフレームが2度も3度も再生可能な理由は、当社の鋳造部品にあります。当社ではテクノロジーを駆使して、流込みの際の鋳造部品の品質、充填率、その後の冷却特性を分析しています。
- 770Gフレームは、その重量クラス向け専用に製造されます。この設計理念により、最高レベルの積載荷重、タイヤの耐用年数およびハンドリングが実現されます。
- 当社では、769Dで大変な成功を収めたインボード・ホイスト・シリンダ設計を復帰させたことにより、フレーム全体で負荷のバランスを保ち、トラックのハンドリングを維持するような方法で、Tier 4装置をパッケージ化することができました。
- フレームに軟鋼を採用することにより、現場での修理を容易にしました。
- フレームは、フロント・バンパの配置により、卓越したアプローチ角度を提供するように設計されています。トラックは乗降が簡単で、乗降がなるべく楽になるように考慮して配置されています。



主要なシステムとコンポーネント

- ステアリング – 卓越した回転性能と信頼性の他に、ステアリング・リンケージはハンドリングに関するフィードバックをオペレータに提供し、タイヤのアライメントを維持するように設計されています。
- フロント・サスペンションは、オイル・キング・ピン・ストラットの窒素で提供されます。これらのストラットは、TPMS機能でペイロードを正確に判断するうえで重要な役割を果たします。適切なストラット圧力を維持することにより、フロント・タイヤとリア・アックスルの堅牢なシリンダが保護されます。運搬路の凸凹の衝撃を和らげることに加えて、当社のサスペンション・コンポーネントは、フレームへの負荷を最小限に抑え、トラック・ボディの負荷を維持します。また、ストラット圧力を使用して、トラックが目標ペイロードに達しているかを測定します。このデータはペイロード管理システムに送られます。両方のサスペンション・システムは、耐久性に優れた、受け継がれてきた設計ですが、Gシリーズでは、ロッド・エンドの異物を最小限に抑えるためにリア・シリンダを倒立させています。これらのシリンダにより、リア・アックスルが揺動できるため、起伏の大きな地形でもホイールは地面との接触を維持することができます。



オペレータの作業環境

業界トップの快適性、安心感およびコントロール性能

トラックの生産性とオペレータの生産性は密接に関連しています。そのため、当社ではいくつかの主要な機能によって770Gを更新し、熟練のオペレータも新人のオペレータも快適に安心してトラックを運転できるようにしました。

快適性

- 便利な自動温度制御機能および左側の電動式ウィンドウ。
- キャブへの乗降が容易なうえ、立ち上がるのに十分なスペースを確保。
- エア・サスペンションと優れた調節機能を備えたCat ComfortシリーズIIIシート。
- 騒音低減テクノロジーにより、内部騒音レベルを79 dB (A) まで低減 (追加のEUサウンド サプレッションを適用した場合は74 dB (A))。

安心感

- 標準装備のROPSおよびFOPS保護機能がキャブの設計に組み込まれており、ISO 3471:2008およびISO 3449:2005レベルIIIに適合。
- オプションのカメラとキャブ内ディスプレイにより機械後方の視界を確保。
- 新人のオペレータに職務訓練を行う際の一体型トレーナ・シート。
- 右側ウィンドウから確保できる緊急脱出ルート。
- キャブ内で発せられる液体レベル・モニタリング警告。
- アドバイザ・ディスプレイがオペレータに重要な機械情報を提供。
- 機械の両側に優れたミラー視認範囲とヘッドライト照明範囲を確保。
- 読み取りやすく、分かりやすい計器パネル。
- 4点支持オペレータ・シート・ベルト・ハーネスにより安全を確保。

コントロール

- 優れたブレーキ性能を提供するオプションのリターダ自動制御、エンジン圧縮ブレーキおよび標準装備のプライマリおよびセコンダリ・サービス・ブレーキ。
- 最大勾配17%の傾斜面での車体保持能力
- 更新された非常に効率性の高いトラクション・コントロール・システム。



計器パネル

計器パネルはオペレータが使用し、機械情報をすばやく簡単に一目で確認することができます。このディスプレイは、イベント発生時にライト点灯 (警告区分1) または点滅 (警告区分2または3)、さらに音声警告でも警告を行います。





アドバイザー・ディスプレイ

アドバイザー・ディスプレイは、表示領域が拡大され、オペレータ・インターフェイスがさらに使いやすくなっています。アドバイザー・ディスプレイの表示可能な画面領域は、86.4 mm × 115.2 mm (3.4 in × 4.5 in) です。

VIMS

重要な判断に必要な情報



重要情報管理システム (VIMS、Vital Information Management System) の重要性を考慮して、当社ではこのシステムを標準装備にしました。搭載されたVIMSを使用して、生産データ、機械の状態およびトラック稼働に関する統計にアクセスできます。このデータを使用して、オペレータのトレーニング、運搬走路の効率および定期的な整備間隔について、必要な情報を得たうえで判断を下すことができます。さらに、VIMSは、イベント・ログ、非稼働時間および燃料消費量について報告します。VIMSの情報は、キャブ内のアドバイザ・ディスプレイを介して利用できます。データへの接続およびダウンロードを行うポータルはフロント・バンパ上とキャブ内にあります。

ペイロードおよびタイヤのモニタリング

生産性とタイヤの状態を追跡

トラック・ペイロード管理システムは、目標ペイロードの積載状態を示す赤と緑のライトを使用して、ローダのオペレータに通知を行います。さらに、システムは、VIMSを介して報告される最高2,400のペイロードおよびサイクル・タイム・データ・ポイントを保存できます。

TKPH/TMPHは、タイヤの状態を計算し、設計で決められた限界に近づくとオペレータに警告を発します。また、タイヤの寿命を保護するためにトラックの出力を下げるようにプログラミングすることもできます。



積込み杯数のマッチング

違いをもたらす適切な装置



Caterpillar社は、お客様の用途と資材の種類および生産要件に適した積込み装置を提供できます。例えば、770Gはお客様からの重要な意見と現場における長時間の検証を基に設計された機械です。Caterpillar社では、フロント・ショベル、油圧ショベルまたはホイール・ローダなど、お客様の固有のニーズの要件に応じて770Gに迅速かつ効率的に積込みを行うためのモデル・サイズ、バケットおよびグランド・エンゲージ・ツールを用意しています。

770GはこれらのCatの積込み装置で無駄のない「杯数」で積込みを行うことができます。積込み杯数はバケット・サイズと資材の密度により決まります。

- **ホイール・ローダ:** Cat 972、980および988は、770Gに最適なCatのホイール・ローダ・オプションで、積込み杯数はそれぞれ約3~4回です。
- **油圧ショベル:** 3杯積みのCat 6015。
- **油圧ショベル:** Cat 374 (4~5杯積み) およびCat 390 (3~4杯積み)。

シンプルな整備

時間と費用を節約



Cat Gシリーズ・トラックは、オペレータや整備者がエンジン・ロックアウト、機械システム・ロックアウト、液体レベル用サイト・ゲージ、グリース・フィッティングなどの共通サービス・ポイントに簡単にアクセスし、エンジンの定期メンテナンスが簡単にできるよう設計されています。

- エンジン・オイルとフィルタの交換間隔は通常運転条件で500時間
- 油圧フィルタの交換時期は通常運転条件で1,000時間
- VIMSトレンド分析により、機械の状態と作業状況を追跡
- ブレーキ摩耗インジケータは標準装備
- 自動給脂システムはオプション装備品として用意
- 新しくバンパに取り付けられた右側のサービス・センターからは、ヒューズとブレーカ、ETおよびVIMSポートに地上面からアクセス可能
- ラジエータと冷却コアはアルミ製でモジュール式となっており、清掃や交換が簡単
- オイル・サンプリング・ポートが装備され、短時間で清潔にサンプルの収集および分析が可能
- 燃料システムには電動プライミングを装備
- 高速充填はオプション





カスタマ・サポート お客様の成功への貢献

Cat製品をご購入いただいたお客様は、Caterpillar社とCatディーラの両方がご支援いたします。Catディーラの緊密な協力によってお客様に提供されるリソースは比類のないものです。包括的なサービス契約から、現場でのサポート、生産性調査、グローバルな部品ネットワークに至る幅広い協力体制により、お客様とお客様のビジネスのために尽力し、装置が最高の効率で作動するよう支援します。

レンタル機械、オペレータ・トレーニング、融資に関する支援または機械の再生など、お客様の要件に応じて、当社のディーラは経験、人材および用途に関する知識を駆使してお客様の成功を応援いたします。

当社のサービス、当社、当社のディーラおよび提供可能なサービスの詳細については、最寄りのCatディーラまでご連絡いただくか、次のいずれかのウェブ・サイトにアクセスしてください。

- www.finance.cat.com
- www.safety.cat.com
- www.mining.cat.com
- www.Caterpillar.com
- www.Cat.com

安全および持続可能性

地域とコミュニティをサポートする優先順位



持続可能性

新しい道、新しい橋、新しいエネルギーのための砂利と鉱物を作り出すことで、私たちは地域に進化をもたらします。Catトラックは、騒音の低減、燃料使用量の削減、排気ガスの低減、堅牢で長寿命の設計とコンポーネントにより、この作業を環境への負荷をあまり掛けない形で行えるように設計されています。

770Gモデルは以下のように貢献します。

- 排出ガスの低減にも貢献する7つの燃料節約機能。
- 再生が可能でReman部品との交換も可能なコンポーネント。
- 2度も3度も再利用可能な耐久性。
- リサイクル可能な資材の集中利用



安全性

トラックの設計にあたり、現場で作業するオペレータとスタッフの安全を最優先で考えています。

- 地上面およびプラットフォームからアクセス可能な日常点検箇所
- 広々とした視界
- 滑りにくく、資材を排除した、手すり付きの堅牢で安定性の高い作業プラットフォーム
- スライド式の右側ウィンドウを利用してキャブ内から脱出できる緊急用避難口
- 地上からアクセス可能なロックアウト/タグ・アウト、ステアリング・システム・ロックアウト用電気システムサービス・ボックス
- セコンダリ・ステアリング(自動作動式)
- 2段階ブレーキ・システム(サービス、セコンダリ)とセコンダリ・ブレーキ用赤色フット・ペダル
- ROPS/FOPS構造(キャブ内)
- すべてのオイル冷却式ブレーキに装備されたブレーキ摩耗インジケータ
- 4点支持ハーネス・オペレータ・シート・ベルト
- ラップ・ベルト付きトレーナ・シート
- ボディ上げギヤ・リミット
- 運搬路走行速度制限
- スムーズで予測可能な性能を発揮するリターダ自動制御
- トラックを短時間で安定した接地状態に戻す新しいトラクション・コントロール・システム
- オペレータ用キャブ内液体レベル・モニタリング・システム
- TKPH/TMPH – タイヤ・モニタリング・システム
- ペイロード、燃料、セグメント、サイクル時間情報を表示するトラック生産管理システム(TPMS)
- エンジンの過回転防止機能(ARC使用)
- 作業領域外のパラメータを警告する3段階の警告
- エンジンを停止するための地上面からアクセス可能なフュエル・シャットオフ・スイッチ

Caterpillar社は、最適事例とスタッフへの安全の観点から、お客様とお客様の事業をさらにサポートすることができます。

770Gダンプ・トラック仕様

エンジン

エンジン・モデル	Cat C15 ACERT	
定格エンジン・スピード	1,700 rpm	
総出力 - SAE J1995	384 kW	515 hp
正味出力 - SAE J1349	356 kW	477 hp
正味出力 - ISO 9249	356 kW	477 hp
正味出力 - 80/1269/EEC	365 kW	489 hp
正味出力 - ISO 14396	379 kW	508 hp
正味トルク - SAE J1349	2,486 N·m	1,834 lbf·ft
シリンダ数	6	
内径	137 mm	5.4 in
ストローク	171 mm	6.7 in
排気量	15.2 L	927.6 in ³

- これらの出力定格は、指定された規格の指定された条件下で、回転数が1,700 rpmのときの値です。
- 定格は、気温25 °C(77 °F)、気圧計が100 kPa(29.61 Hg)を示す、SAE J1995の標準的な空気状態におけるものです。出力は、16 °C(60 °F)におけるAPI比重が35、LHVが42,780 kJ/kg(18,390 BTU/lb)の燃料で、エンジンを30 °C(86 °F)で使用した場合のものです。
- 3,000 m(9,843 ft)の標高までは、エンジンの出力レベルを下げる必要はありません。
- 米国環境保護庁Tier 4とEuropean Union Stage IV排出ガス規制に適合しています。

質量 - 概算値

目標車両総質量	71,214 kg	157,000 lb
シャーシ質量	25,378 kg	55,948 lb
ボディ質量	7,665 kg	16,898 lb

- 100%の燃料残量、ホイスト、ボディ・マウンティング・グループ、リムおよびタイヤを含むシャーシ質量
- ボディ質量は標準デュアル・スロープ・ボディ(ライナなし)で、構成に応じて異なります。

運転仕様

公称ペイロード・クラス(100%)	38.2メートル・トン	42.1トン
最大ペイロード・クラス(110%)	42メートル・トン	46.3トン
ペイロード(120%)を超えないこと	50.4メートル・トン	50.5トン
ボディ容量(SAE 2:1)	25.2 m ³	32.9 yd ³
最高速度 - 積載時	73.7 km/h	45.8 mph

- 機械の最大総質量制限については、「Caterpillarの10/10/20過積載に関する方針」を参照してください。
- デュアル・スロープ・ボディ(ライナなし)の容量。

トランスミッション

前進1速	11.9 km/h	7.4 mph
前進2速	16.3 km/h	10.1 mph
前進3速	22.2 km/h	13.8 mph
前進4速	29.8 km/h	18.5 mph
前進5速	40.4 km/h	25.1 mph
前進6速	54.4 km/h	33.8 mph
前進7速	73.7 km/h	45.8 mph
後進	14.2 km/h	8.8 mph

- 最高走行速度は、18.00R33(E4)標準タイヤを使用した場合の値です。

ファイナル・ドライブ

ディファレンシャル比	1.92:1
プラネタリ比	4.80:1
総減速比	9.26:1

ブレーキ

ブレーキ表面 - フロント	1,395 cm ²	216 in ²
ブレーキ表面 - リア	40,225 cm ²	6,235 in ²
ブレーキ基準	ISO 3450:1996	

- 目標機械総運転質量は71,214 kg(157,000 lb)です。

ボディ・ホイスト

ポンプ流量 - 高速アイドル時	448 L/分	118 gal/分
リリーフ・バルブ設定 - 上げ	18,950 kPa	2,750 psi
リリーフ・バルブ設定 - 下げ	3,450 kPa	500 psi
ボディ上昇時間 - 高速アイドル時	7.5秒	
ボディ下降時間 - フロート	10.0秒	
ボディ出力低下 - 高速アイドル時	10.0秒	

容量 - デュアル・スロープ - 充填比100 %

平積み	17.6 m ³	23.01 yd ³
山積み2:1 (SAE)	25.2 m ³	32.9 yd ³

容量 - フラット・フロア - 充填比100 %

平積み	17.6 m ³	23.01 yd ³
山積み2:1 (SAE)	25.2 m ³	32.9 yd ³

質量配分 - 概算値

フロント・アクスル - 無積載時	49 %
フロント・アクスル - 積載時	34 %
リア・アクスル - 無積載時	51 %
リア・アクスル - 積載時	66 %

サスペンション

無積載時シリンダ・ストローク(フロント)	234 mm	9.2 in
無積載時シリンダ・ストローク(リア)	149 mm	5.9 in
リア・アクスル・オシレーション	8.9°	

交換時の容量

フュエル・タンク	530 L	140 gal
クーリング・システム	125 L	33 gal
クランクケース	64 L	17 gal
ディファレンシャル/ファイナル・ドライブ	180 L	47 gal
ステアリング・タンク	55 L	14.5 gal
ステアリング・システム(タンクを含む)	87 L	23 gal
ブレーキ・ホイスト・ハイドロリック・タンク	145 L	38 gal
ブレーキ・ホイスト・システム	227 L	60 gal
トルク・コンバータ/トランスミッション・システム	64 L	17 gal
DEFタンク	28.6 L	7.6 gal

ステアリング

ステアリング基準	ISO 5010: 2007	
ステア角	40.5°	
旋回半径 - フロント	18.03 m	59.2 ft
旋回クリアランス直径	20.3 m	66.6 ft

- 目標機械総運転質量は71,214 kg(157,000 lb)です。

タイヤ

標準タイヤ	18.00R33 (E4)
-------	---------------

- 770Gトラックの作業能力は非常に高いため、作業条件によっては標準またはオプション・タイヤのTKPH (TMPH) の能力限界を超えてしまうことがあります。その場合は、作業量を制限してください。
- Caterpillarでは、すべての作業条件を検討し、タイヤ・メーカーとご相談の上、適切なタイヤを選択することをお勧めします。

ROPS

ROPS/FOPS標準

- Caterpillar製キャブ用のROPS(転倒時運転者保護構造)は、ISO 3471:2008規格に適合しています。
- FOPS(落下物保護構造)は、ISO 3449:2005レベルII FOPSの規格に適合しています。

騒音

騒音基準

- ISO 6396: 2008に基づいて密閉したキャブ内で測定したオペレータの等価音圧レベル (Leq) は79 dB(A)です (EUサウンド サプレッションを適用した場合は74 dB(A))。キャブが適切に取り付けられ、整備されている状態で測定されました。この試験は、キャブのドアおよびウィンドウを閉めた状態で行われています。
- 標準機械の周囲音圧出力レベルは116 dB(A)です。これは、ISO 6395:2008で規定されている試験手順に従い測定した場合の値です。
- 開放型の運転席やキャブ(適切にメンテナンスがされていない場合や、ドア/ウィンドウが開いている状態)で長時間作業を行うときや、騒音の激しい環境で作業を行うときには、聴力保護具が必要になる場合があります。

770Gダンプ・トラック仕様

質量/ペイロード計算

770G - フラット・フロア	362-8600 ボディ	444-8460 ボディ+ スチール・ライナ	444-8461 ボディ+ラバー・ライナ	362-8602* ラバー・ライナ、 150 mm (5.9 in) の側面ボード付き	362-8650 採石ボディ ・スチール	
フロア/サイドウォール/フロントウォール	16/10/14 mm (0.62/0.39/ 0.55 in)	16/10/14 + 16/8/8 mm (0.62/0.39/0.55 + 0.62/0.31/0.31 in)	16/10/14 + 102/8/8 mm (0.62/0.39/0.55 + 4.01/0.31/0.31 in)		25/14/16 mm (0.98/0.55/ 0.62 in)	
ペイロード容量	31.3 m ³ (41.0 yd ³)	31.0 m ³ (40.5 yd ³)	29.7 m ³ (38.9 yd ³)	32.2 m ³ (42.1 yd ³)	31.1 m ³ (40.6 yd ³)	
フロア厚さ	16 mm (0.630 in)	32 mm (1.26 in)	102 mm (4.0 in)	102 mm (4.0 in)	25 mm (1.0 in)	
目標車両総質量	kg (lb) 71,214 (157,000)	71,214 (157,000)	71,214 (157,000)	71,214 (157,000)	71,214 (157,000)	
無積載時シャーシ質量***	kg (lb) 24,933 (54,968)	24,933 (54,968)	24,933 (54,968)	24,933 (54,968)	24,933 (54,968)	
ボディ・システム質量	kg (lb) 7,850 (17,306)	10,790 (23,788)	11,405 (25,144)	11,770 (25,948)	10,095 (22,256)	
無積載時機械質量	kg (lb) 32,783 (72,274)	35,723 (78,756)	36,338 (80,112)	36,703 (80,916)	35,028 (77,223)	
アタッチメント						
フュエル・タンク・サイズ	L (gal) 529 (140)	529 (140)	529 (140)	529 (140)	529 (140)	
フュエル・タンク - 100 % 充填	kg (lb) 445 (981)	445 (981)	445 (981)	445 (981)	445 (981)	
無積載時運転質量**	kg (lb) 33,228 (73,255)	36,168 (79,737)	36,783 (81,093)	37,148 (81,897)	35,473 (78,205)	
目標ペイロード*	メートル・ トン (トン)	38.0 (41.9)	35.0 (38.6)	34.4 (38.0)	34.1 (37.6)	35.7 (39.4)
10/10/20方針*						
公称ペイロード - 100 %	kg (lb) 37,986 (83,745)	35,046 (77,263)	34,431 (75,907)	34,066 (75,103)	35,741 (78,795)	
最大作動ペイロード - 110 %	kg (lb) 41,785 (92,119)	38,551 (84,990)	37,874 (83,498)	37,473 (82,613)	39,315 (86,675)	
ペイロード (120 %) を超えないこと	kg (lb) 45,583 (100,494)	42,055 (92,716)	41,317 (91,089)	40,879 (90,123)	42,889 (94,554)	
最大機械総質量	kg (lb) 78,811 (173,749)	78,223 (172,453)	78,100 (172,181)	78,027 (172,020)	78,362 (172,759)	
770G - デュアル・スロープ						
		362-8610 ボディ		444-8462 ボディ+スチール・ライナ		
フロア/サイドウォール/フロントウォール		16/10/14 mm (0.62/0.39/0.55 in)		16/10/14 + 16/8/8 mm (0.62/0.39/0.55 + 0.62/0.31/0.31 in)		
ペイロード容量		31.2 m ³ (40.8 yd ³)		30.9 m ³ (40.4 yd ³)		
フロア厚さ		16 mm (0.630 in)		32 mm (1.26 in)		
目標車両総質量	kg (lb)	71,214 (157,000)		71,214 (157,000)		
空荷時シャーシ質量	kg (lb)	24,933 (54,968)		24,933 (54,968)		
ボディ・システム質量	kg (lb)	7665 (16,898)		10,560 (23,281)		
無積載時機械質量	kg (lb)	32,598 (71,866)		35,493 (78,249)		
アタッチメント						
フュエル・タンク・サイズ	L (gal)	529 (140)		529 (140)		
フュエル・タンク - 100 % 充填	kg (lb)	445 (981)		445 (981)		
無積載時運転質量**	kg (lb)	33,043 (72,847)		35,938 (79,230)		
目標ペイロード*	メートル・ トン (トン)	38.2 (42.1)		35.3 (38.9)		
10/10/20方針*						
公称ペイロード - 100 %	kg (lb)	38,171 (84,153)		35,276 (77,770)		
最大作動ペイロード - 110 %	kg (lb)	41,988 (92,568)		38,804 (85,547)		
ペイロード (120 %) を超えないこと	kg (lb)	45,805 (100,983)		42,331 (93,324)		
最大機械総質量	kg (lb)	78,848 (173,830)		78,269 (172,554)		

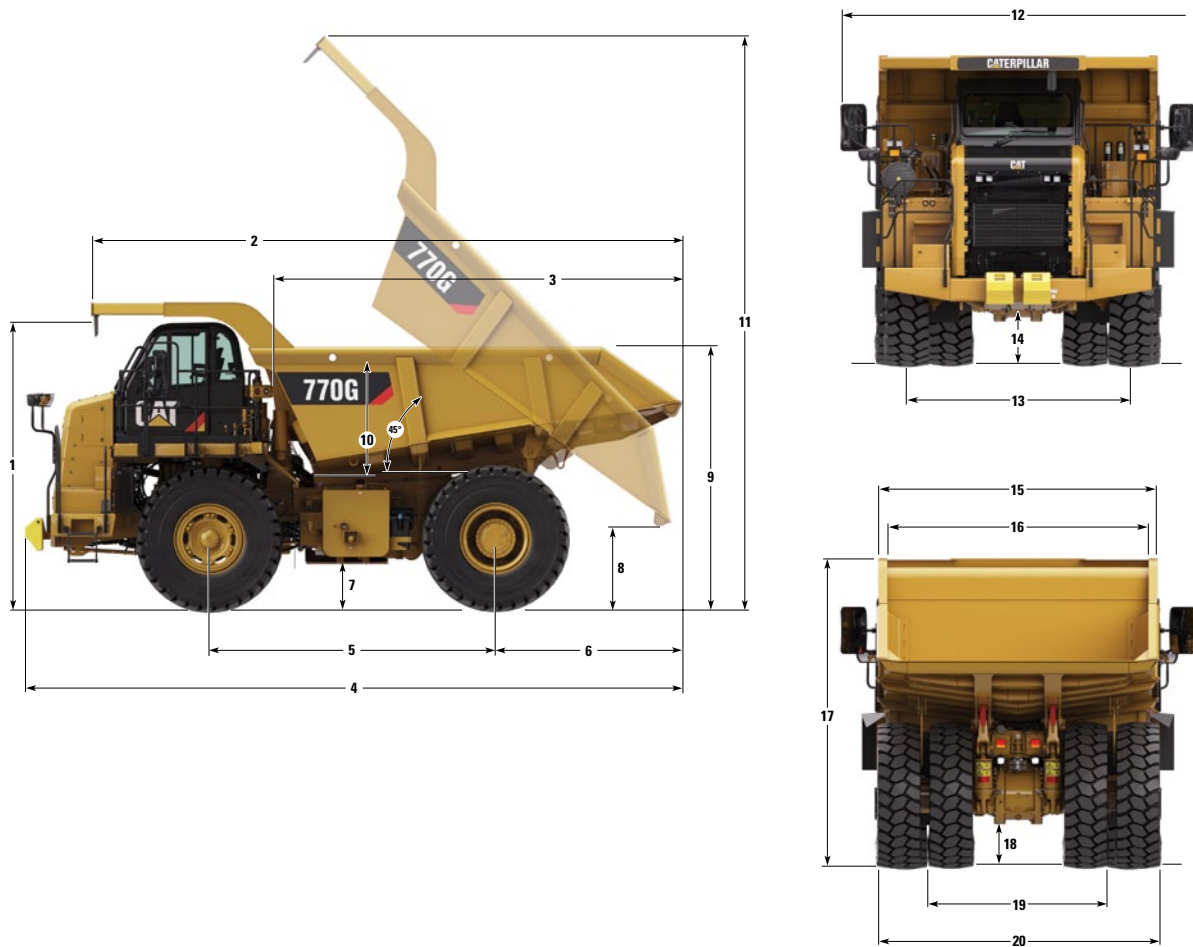
*Caterpillar社10/10/20過積載に関する方針をご参照ください。

**すべてのアタッチメントの質量を含みます。

***この計算の無積載時シャーシ質量は燃料なしの値です。

寸法

寸法はすべてデュアル・スロープ・ボディ搭載時の概算値です。



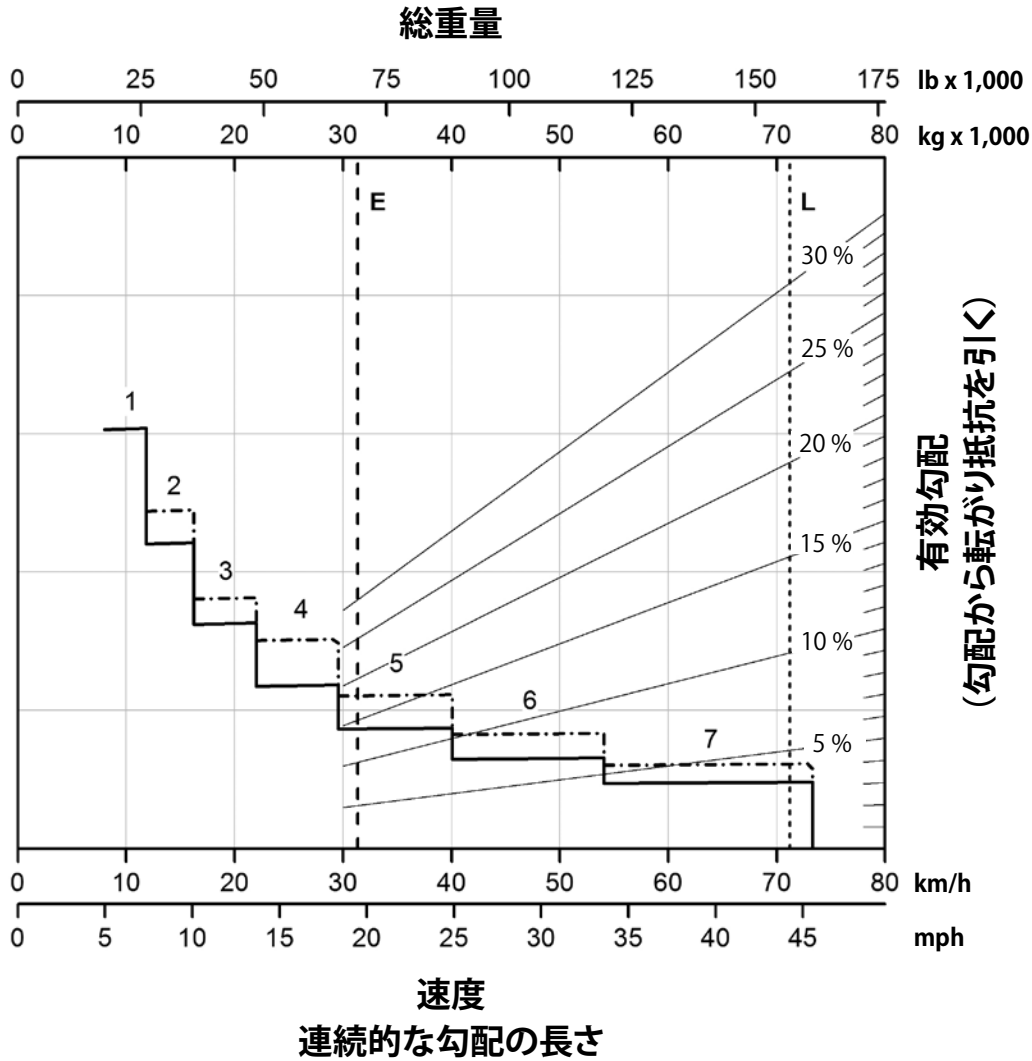
1	ROPS頂部までの高さ	3,857 mm	12.7 ft
2	ボディ全長	8,177 mm	26.9 ft
3	内側ボディ長さ	5,635 mm	18.5 ft
4	全長	8,796 mm	28.9 ft
5	ホイールベース	3,960 mm	13.0 ft
6	リア・アクスルからテールまで	2,586 mm	8.5 ft
7	最低地上高	500 mm	1.7 ft
8	ダンプ・クリアランス	506 mm	1.7 ft
9	積み高さ - 空荷時	3,147 mm	10.3 ft
10	内側ボディ深さ - 最大	1,404 mm	4.6 ft
11	全高 - ボディを上げた状態	8,255 mm	27.1 ft
12	運転幅	4,780 mm	15.7 ft
13	フロント・タイヤ幅の中心線	3,110 mm	10.2 ft
14	エンジン・ガード・クリアランス	562 mm	1.1 ft
15	外側ボディ幅	3,931 mm	12.9 ft
16	ボディ内幅	3,642 mm	12.0 ft
17	フロント・キャノピ高さ	4,115 mm	13.6 ft
18	リア・アクスル・クリアランス	533 mm	1.8 ft
19	センターライン・リア・デュアル・タイヤ幅	2,536 mm	8.3 ft
20	タイヤ全幅	3,693 mm	12.1 ft

770Gダンプ・トラック仕様

リターダ性能 (Tier 4 Final)

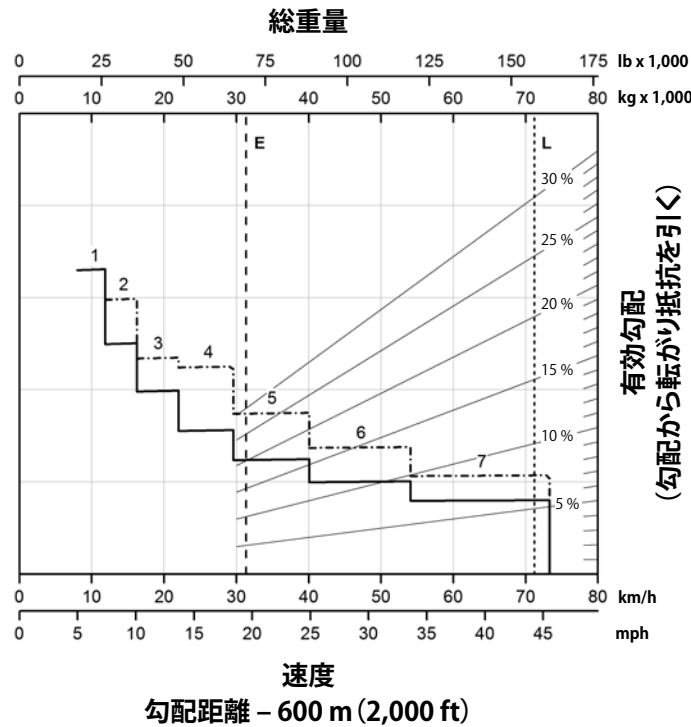
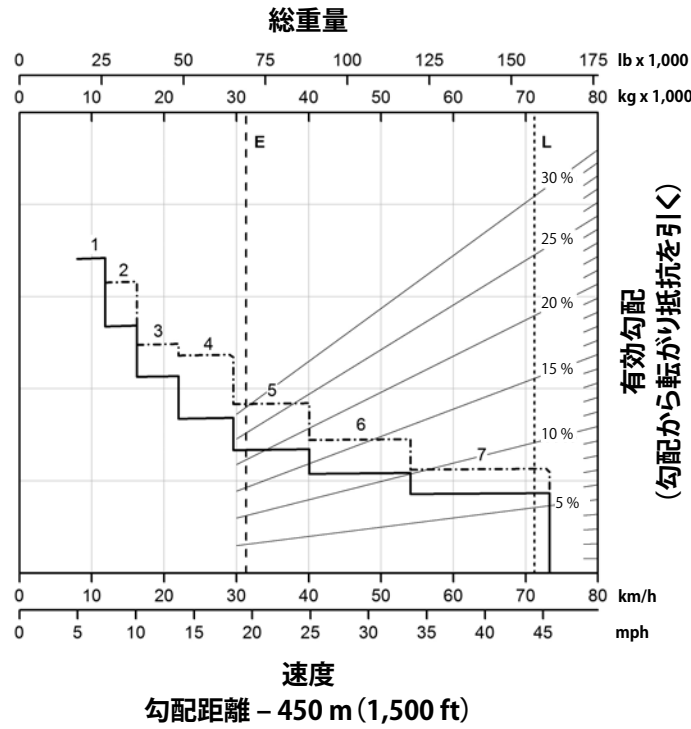
リターダ性能の求め方: すべての下り坂部分の長さを合計し、この合計を使用して、該当するリターダ表を参照します。総重量から下の有効勾配(%)を読み取ります。有効勾配は、転がり抵抗10 kg/t(20 lb/ton)につき1%を、実際の勾配(%)から引いたものです。この質量と有効勾配の交点から、水平に使用可能な最高のギヤのカーブを求め、そこから垂線を下ろせば、冷却能力を超えずにブレーキが適切に対応できる、最高下降速度が得られます。以下の表は、次の条件に基づいています。周囲温度32°C(90°F)、海拔ゼロ地点、18.00R33(E4)のタイヤ装着時。

注記: エンジンの過回転を防止しながらエンジン回転数を最高レベルに維持できるように、適切なギヤを選択してください。冷却オイルが過熱した場合は、走行速度を落として、トランスミッションが1つ下の速度段にシフトできるようにしてください。



- ARCのみを使用
- - - - - ARCおよびエンジン・ブレーキ
- E - 現場における一般的な空車時質量の場合
- L - 目標機械総運転質量が82,100 kg (181,000 lb)の場合

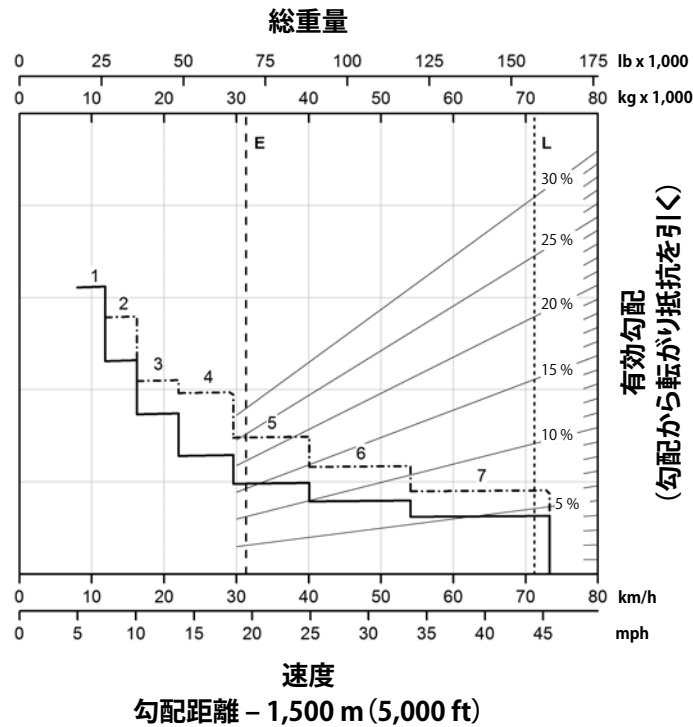
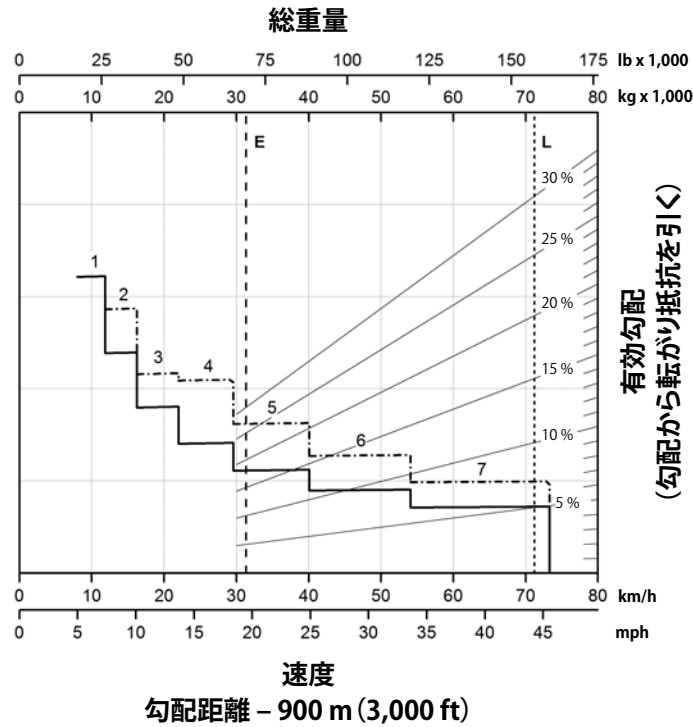
リターダ性能 (Tier 4 Final)



- ARCのみを使用
- - - - - ARCおよびエンジン・ブレーキ
- E - 現場における一般的な空車時質量の場合
- L - 目標機械総運転質量が82,100 kg (181,000 lb)の場合

770Gダンプ・トラック仕様

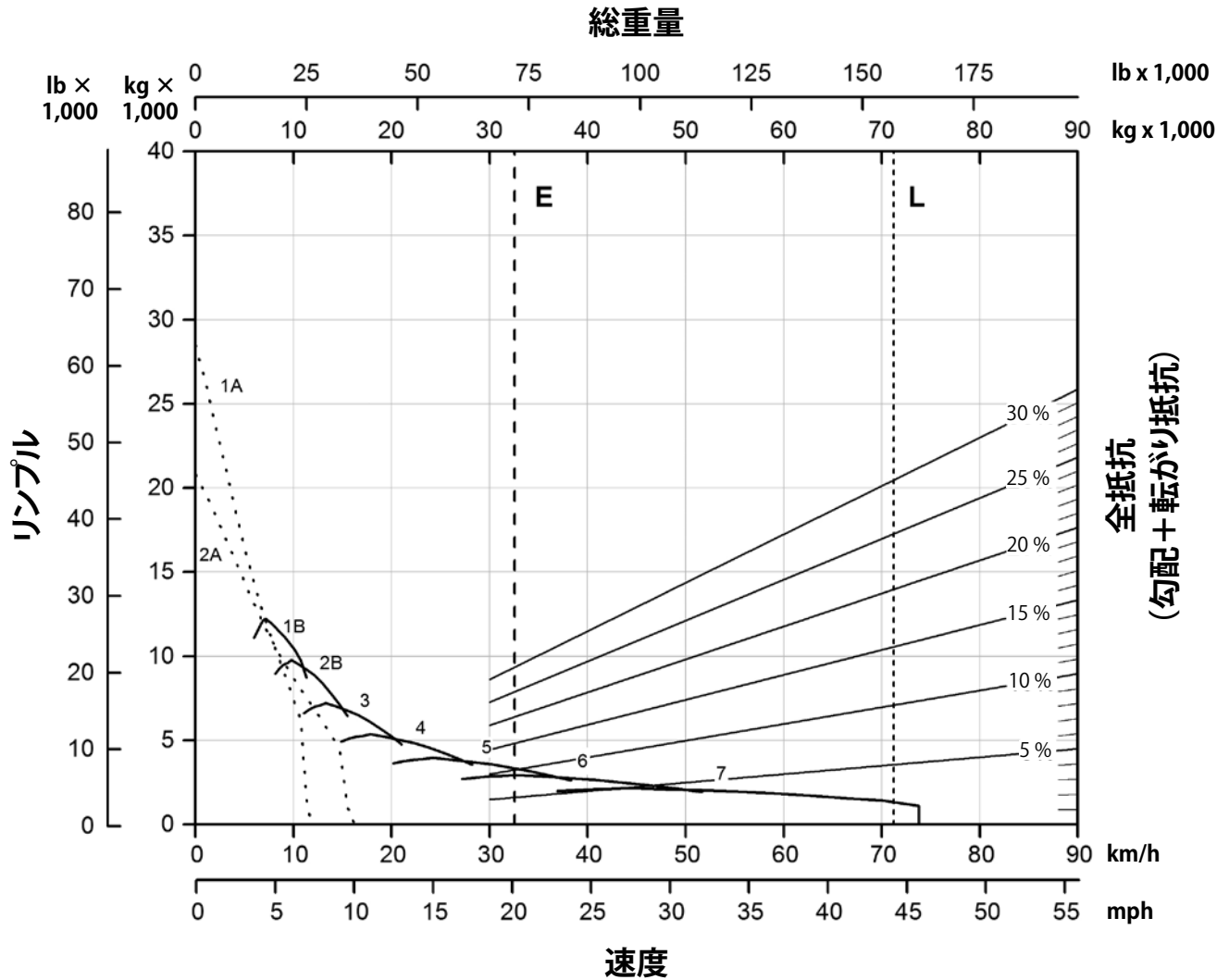
リターダ性能 (Tier 4 Final)



- ARCのみを使用
- - - - - ARCおよびエンジン・ブレーキ
- E - 現場における一般的な空車時質量の場合
- L - 目標機械総運転質量が82,100 kg (181,000 lb)の場合

登坂能力/速度/リンプル(Tier 4 Final)

登坂性能の求め方: 総質量の値から垂線を下ろし、全抵抗(%)との交点を求めます。全抵抗は、転がり抵抗10 kg/t(20 lb/ton)につき1%を、実際の勾配(%)に足したものです。この質量と抵抗の交点から、水平に使用可能な最高のギヤのカーブを求め、そこから垂線を下ろせば、最高速度が得られます。有効リンプルは、利用可能なトラクションと駆動輪にかかる質量により決定されます。



- ARCのみを使用
- ARCおよびエンジン・ブレーキ
- E - 現場における一般的な空車時質量の場合
- L - 目標機械総運転質量が82,100 kg (181,000 lb) の場合

770Gの標準装備

標準装備

標準装備はこれと異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

電気系統

- ・後進警報ブザー
- ・オルタネータ(115 A)
- ・ジャンプ・スタート用補助ソケット
- ・メンテナンスフリー・バッテリー(12 V 2個、190アムペア時)
- ・電気系統(24 V)
- ・照明システム:
 - ハロゲン後進ライト
 - 方向指示器/ハザード・ウォーニング(フロントおよびリアLED)
 - ハロゲン・ヘッドライト(ディマー付き)
 - オペレータ乗降用車内灯(成長市場のみ)

PRODUCT LINK™通信

- ・Product Link対応

ガード

- ・ドライブライン
- ・エンジン・クランクケース

オペレータ環境

- ・エア・コンディショニング
- ・灰皿およびシガレット・ライター
- ・コート・フック
- ・カップ・ホルダ(4)
- ・診断コネクタ・ポート(24 V)
- ・娯楽用ラジオ対応
 - 5 Aコンバータ
 - スピーカ
 - アンテナ
 - ワイヤ・ハーネス
- ・ゲージ/インジケータ:
 - エア・クリーナ・サービス・インジケータ – 電子式
 - ブレーキ・オイル温度ゲージ
 - クーラント温度ゲージ
 - アワー・メータ
 - タコメータ
 - エンジンのオーバースピード・インジケータ
 - フェUEL・レベル
 - スピードメータ(走行距離計付き)
 - トランスミッション・ギヤ・インジケータ

- ・ヒータ/デフロスタ(11,070 kCal/43,930 BTU)
- ・ホイスト・レバー
- ・電気式ホーン
- ・ライト - ドーム
- ・ライト - 車内
- ・メッセンジャ、ディスプレイ・ユニット
- ・ミラー
- ・電源ソケット(12 V)
- ・ROPSキャブ(絶縁/騒音抑制型)
- ・シート、Cat ComfortシリーズIII
 - フル・エア・サスペンション
 - 4点支持ハーネス
- ・ステアリング・ホイール、パッド保護、チルト機能、テレスコープ機能
- ・収納コンパートメント
- ・サンバイザ(着色ガラス)
- ・スロットル・ロック
- ・間欠ウインドシールド・ワイパとウォッシュャ

パワー・トレーン

- ・エアツアエア・アフタクーラ(ATAAC)
- ・エア・クリーナ(プレクリーナ付き(1))
- ・自動コールド・モード・アイドル・コントロール
- ・電動始動
- ・ターボチャージャ
- ・ブレーキ・システム、油圧作動式:
 - リターダ自動制御(ARC)(リア・オイル冷却式多板ブレーキを使用)
 - ブレーキ解除モータ(けん引用)
 - キャリパ・ディスク(フロント)
 - オイル冷却式マルチ・ディスク(リア)
 - パーキング
 - セコンダリ
 - サービス
- ・トランスミッション:
 - 7速自動パワーシフト
 - ボディアップ・シフト・インヒビタ
 - 制御スロットル・シフティング
 - 方向シフト管理
 - ダウンシフト・インヒビタ
 - ニュートラル始動スイッチ
 - ニュートラル時惰性走行インヒビタ
 - リバース・シフト・インヒビタ
 - ダンブ中のリバース・ニュートラライザ
 - プログラム可能なトップ・ギヤ選択

サスペンション・システム

- ・サスペンション、フロントおよびリア

その他の標準装備

- ・ボディ安全ピン(ボディを「上げ」位置に固定)
- ・ボディ下降インジケータ
- ・CD ROMパーツ・ブック
- ・油圧式デマンド・ファン
- ・フェUEL・タンク(530 L/140 gal)
- ・ガード、エンジン・コンパートメント
- ・ガード、マッド
- ・バッテリー・ディスコネク(地上操作用)
- ・地上からエンジン・シャットダウンが可能
- ・地上からアクセス可能なグリース・フィッティング
- ・リザーバ(セパレート型):
 - ブレーキ/コンバータ/ホイスト
 - ステアリング
 - トランスミッション/トルク・コンバータ
- ・リム(15 x 33)
- ・ロック・イジェクタ
- ・整備用プラットフォーム(左側/右側)
- ・補助ステアリング装置(自動)
- ・固定用の穴
- ・けん引用フック(フロント)/けん引用ピン(リア)
- ・盗難防止ロック

不凍液

- ・エクステンド・ライフ・クーラント(-35 °C/-30 °F まで対応)

オプション装備品

オプション装備品はこれと異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

- エクステンデッド・ライフ・ブレーキ・ディスク
- Catエンジン・ブレーキ
- ボディ・ヒータ/ダイバータ・ボックス
- バッテリ4個
- HIDライト
- トラック生産管理システム
- Product Link
- 後進警報ブザー
- ヒーテッド・ミラー
- 燃料ヒータ
- エーテル補助
- クーラント・ヒータ
- 自動給脂
- リア・ビジョン・カメラ(WAVS)
- スペア・リム
- 車輪止め
- ボディ・サイド・ボード
- トラクション・コントロール・システム

Cat製品、ディーラのサービス、各業界向けソリューションの詳細については、www.cat.comをご覧ください。

© 2014 Caterpillar
All rights reserved

この製品に使用される材料および仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプションの装置が装備されている場合があります。利用可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT, CATERPILLAR, SAFETY.CAT.COM、それらの各ロゴ、"Caterpillar Yellow" および "Power Edge"のトレード・ドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

AJHQ7213 (01-2014)
(翻訳版: 02-2014)
(EU, NACD, GN2)

